

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

米ナスフェア「食べ終わりの会」開催



米ナスピザ

11月22日、高知市内のレストランに米ナスフェアの関係者らが集まり、「食べ終わりの会」が開催されました。当初は8月31日に計画されていましたが、台風10号襲来の懸念から延期されていたものです。

今年度は米ナスフェア開催20周年を記念し、高知市内だけでなく嶺北地域の飲食店の協力を得て、拡大フェアを開催しました。「食べ終わりの会」への参加者は、美味しい米ナス料理を食べながら、来年度以降の継続を宣言していました。

今後も普及所は、米ナス生産の振興のため、関係機関と協力しながら米ナス部会と米ナスフェアを支援していきます。

花育活動

～小学校でフラワーアレンジメント体験～



花育授業の様子

11月29日、地元で生産している花き類について知ってもらい、家庭で花を飾る習慣を広めることを目的に、JA高知県れいほく花卉部会が土佐町小学校3年生の児童29人を対象に、花育活動しました。

今回は生産者2名が栽培している花きについてクイズ形式で紹介をしたあと、児童らに自由にフラワーアレンジメントを体験してもらいました。

生産者は「これからも家に花を飾ってほしい」、児童からは「家にプレゼントする!」という声がありました。

今後も普及所は、花育の推進を支援します。

今年の米ナス栽培をふりかえって

～米ナス反省会～



反省会の様子

12月3日、JA高知県れいほく園芸部米ナス部会が反省会を開催し、部会員7名が参加しました。

JAからはGAPや販売状況について説明がありました。普及所からは、高温対策や鳥獣害対策、食品安全について説明しました。

参加者からは「米ナスでは鳥獣被害は発生していないか?」、「来年は栽植密度を詰めてみたい」などの質問・意見が出され、活発に意見交換が行われました。

今後も普及所は、生産者の収量・所得の増加につながるよう、JAと連携して栽培・経営指導を行っていきます。

ハウレンソウ部会反省会の開催



協議する部会員

12月10日、JA高知県れいほく支所においてハウレンソウ部会反省会が開催され、部会員3名が参加しました。

会では今年度の販売実績と生産者の減少による園芸部から開発部会への移行について協議され、了承されました。

普及所からは食の安全に関する啓発と、作業場の明るさ改善について情報提供しました。

今後、ハウレンソウ部会は園芸部総会での承認を経て開発部会に移行する見込みですが、普及所は引き続き生産者の経営安定に向け支援していきます。

農業の基礎を学ぶ！

～「農業基礎講座」開催～



講座の様子

嶺北農業改良普及所では、新規就農者や女性農業者等を対象に、農業の基礎的な知識の習得を目的として農業基礎講座を開催しています。11月28日に「病虫害防除」、12月20日に「土壌肥料」についての講座を開催し、延べ8名が参加しました。

普及所はIPMの取組や農薬を使用する際の注意点、土づくり・土壌診断の方法等を説明しました。

参加者からは「RACコードを知らなかったのでとても勉強になった」や「土壌診断を基にした土づくりの重要性が分かった」といった声がありました。

この基礎講座は3月までテーマを変えて毎月1回の開催を予定しており、今後も普及所は担い手や女性農業者の農業技術習得を支援していきます。